

# 令和5年第4回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和5年12月定例会

順序	議員名	要 旨
1 番	海野 学 (一問一答方式)	<p><b>1 介護人材不足について</b> 【質問のねらい】 当別町では今年半年間で人材不足によるデイサービスの休止が2箇所あり、地域共生社会の実現に向けた当別町版地域包括ケアシステムを含め根底にある介護サービス事業の危機と感じている。当別町在住の高齢者の方々やご家族が安心して生活できる為には、継続的な介護サービスの提供は不可欠であり、人材の確保・育成が急務と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 厚生労働省は第8期介護事業計画の介護サービス見込み量等に基づき介護職員の必要数を令和3年7月に公表し(別紙)、介護人材確保に向けた取り組みを打ち出している。当別町の介護人材不足について、町としてどこまで現状把握し、今後の対応をどう考えているのか。</p> <p>(2) 2021年に実施された調査によれば、デイサービスは14都道府県の緊急事態宣言対象地の42.5%が赤字。対象外の地域でも40.1%が赤字であり、2022年の倒産・休廃業・解散は全国で過去最多の638件に急増している。物価高騰や人件費、人材確保の支出が増加している状況の中、当別町では介護人材確保の観点から、何か支援は考えているか。</p> <p>(3) 当別町版地域包括ケアシステムについても今後は介護人材の確保が大きな課題となると記載されている。第8期当別町介護保険事業計画のP・D・C・Aを踏まえて第9期にはどのように計画しようとしているか。</p>
2 番	島田 裕司 (一問一答方式)	<p><b>1 町内の既存医療機関への支援について</b> 【質問のねらい】 医療機関誘致条例を制定して、この2年間で3つの医療機関の誘致に成果を上げた。次は、これまで地域医療体制を支えてきた既存の医療機関に対しても存続のための支援策を検討すべきではないのか。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 議会は、9月定例会で既存の医療機関から提出されていた“存続のための支援策に関する陳情書”を趣旨採択した。町はこの事をどう受け止めるのか。支援策について、検討するつもりはあるのか。</p> <p>(2) 医療機関誘致条例を制定して2年経過し、早期にこの条例の目的は達成したのではないかと。過剰誘致の動きの恐れも心配され、条例の期間を1年前倒して令和5年度で終了すべきでないか。</p> <p><b>2 町内の介護施設への支援について</b> 【質問のねらい】 道内の介護施設で職員不足が深刻化し、施設の運営やサービスの休止に追い込まれる事業者が相次いでいる。町内の事業者の実態も同様と聞くと、町としてどう捉えているのか。町として事業者が撤退することなく、町民が安心して老後を送れるよう、さらなる支援も必要でないか。</p>

		<p><b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 町立の養護老人ホームは、施設の老朽化や職員の人件費抑制のため、現在は町内の社会福祉法人が、その運営を引き継いでいる。人手不足、物価高騰、新型コロナによる施設利用者の減少などでその運営は年々厳しく、特にここ数年は収支で赤字運営が続いていると聞く。町としても、これまでの経緯から一定の支援はしてきているが、現在のこの状況下ではさらなる支援も必要ではないのか伺う。</p> <p><b>3 当別駅前複合ビル建設について</b></p> <p><b>【質問のねらい】</b></p> <p>10/14 付、道新で道医療大学移転を受け民間の複合ビル建設の白紙報道があった。この建設予定の複合ビルには、公共施設部分として当別町が賃貸または一部を買い取る形で図書館を移転させることになっている。本当に図書館は移転できるのか。庁舎建設の検討に影響があるのではないのか。</p> <p><b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 複合ビル建設白紙報道を受け、町は建築主にそのことを確認してどうだったのか。場合によっては、町は図書館の移転建設について根本的に再検討することにならないのか。それとも白紙報道前に、町はこの件で協議していたのか。</p> <p>(2) 図書館移転先がそのまま白紙状態になるなら、庁舎建設に関わる検討において、庁舎の複合施設化の再検討や庁舎機能の分散化、建設場所の選定まで影響をおよぼす事にならないのか。</p>
3番	佐々木常子 (一問一答方式)	<p><b>1 こども家庭センターについて</b></p> <p><b>【質問のねらい】</b></p> <p>全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ、一体的に相談支援を行っていく事は児童虐待防止のためにも、様々な子育ての悩みを抱える家族にとっても非常に重要と考える。</p> <p><b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 現在の子育て支援との違いなど、「こども家庭センター」に対する認識を伺う。</p> <p>(2) 児童虐待防止のための対策も多く含まれているが、当別町において近年における児童虐待の対応を伺う。</p> <p>(3) 国からも設置の通達がきており、道としても全道域で来年度設置と発表されているが当別町としてはどのようにしていくのか。</p> <p>(4) 生まれて0日でのいのちを失うという事例が多数あることを思うと、性教育が重要であると思うが、当別町としては、どのように行われているのか。</p>
4番	山崎 公司 (一問一答方式)	<p><b>1 新年度予算編成の重点項目について</b></p> <p><b>【質問のねらい】</b></p> <p>令和6年度は、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終5年目にあたる。特に未達の案件始め、新たな社会づくりを先導する取り組みを検討する事が重要と考え、前向きな予算編成を期待する事を質す。</p> <p><b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響も縮小傾向、企業収益や個人消費も回復傾向にある。町税・交付税、経費の算定ルールを改正したふ</p>

るさと納税等の歳入についてどのような想定をされているか。

- (2) 歳入改善と受益者負担のバランスの観点から2年前から公共施設の使用料見直しを要求しているが前進があるのか。その内容は、①児童・生徒の使用料②65歳以上の高齢者③町外の利用者④申し込みが必要な施設
- (3) 目標とする定住人口は、2030年までに16,000人、2040年までに18,000人、2060年までに20,000人を目指すとするがこの目標を継続するのか。
- (4) 今年夏の暑さは厳しく、その状況から今後の小中学校の暑さ対策を早急に必要と思うが伺う。
- (5) 魅力溢れる活力に満ちた住みたい町づくりと、コンパクトな町づくりの計画進展のため、当別、太美、ロイズタウンの各JR駅周辺の町づくりの居住地を確保する事も重要な施策と考えるがそのような新たな取り組みはないのか。
- (6) 令和6年度の大きな事業の重点目標は何か。

## 2 チャットGPTの現状について

### 【質問のねらい】

7月から3ヶ月間の実証試験を終了し10月から全庁の業務に本格導入した。当初の目標通り、実施されているのか質す。

### 【質問項目】

- (1) 3ヶ月間の実証試験の利用件数と本格導入2ヶ月間の利用件数、さらに職員全体の何割が継続利用しているか。又利用者の満足度はどの程度か。
- (2) チャットGPTの導入によって、業務プロセスがどれだけ効果的になったか。業務のタスクや手続きにおいて、作業時間やリソースの削減が見られたのか。
- (3) 利用者のサポート、チャットGPTを効果的に利用する為に現場のスタッフにはどのようなトレーニングやサポートがあるのか。利用者がシステムを十分に活用出来るように教育プログラムやサポートの改善点があるのか。
- (4) 地域社会への貢献として、チャットGPTの導入が地域社会や町民に対してどのような貢献を行っているか。例えばサービスの向上や情報提供の向上などあるのか。
- (5) 今後の展望として、今後の活用についての計画や展望はあるのか。予定があれば説明願う。

## 3 『問題行動・不登校』・『教員の長時間労働』について

### 【質問のねらい】

文部科学省は、2022年の『問題行動・不登校調査』の結果を発表した。道内の認知されたいじめは、34,499件、前年比50.7%増。小中校で30日以上欠席した不登校は、12,320人、前年比16.4%増。町内の現状と対策を質す。

### 【質問項目】

- (1) 町内の児童・生徒の『問題行動・不登校』の該当者数の現状は。
- (2) 問題行動の課題と対策として、家庭環境の影響として、家庭内の問題や不安定な環境に対する対策を実施しているか。

		<p>(3) 過度の学業プレッシャーや期待が子供のストレスと問題行動に繋がることがある。これらの対策は実施しているか。</p> <p>(4) 学校関連の問題として、学業の適応・困難さ、教師やクラスメートとの対人関係の問題が上げられる。これらの対策の実施はしているか。</p> <p>(5) 不登校の懸念は、多岐にわたり、家庭環境・学校環境・精神健康状態・学習障害いじめ・友人関係の問題などに影響を及ぼすと言われている。具体的に日頃どの様な改善策を実行しているか。</p> <p>(6) 教員の長時間労働が社会問題化し、業務削減は緊急の課題である。学校や教育委員会だけに対応を委ねるのではなく、行政の首長部局の積極的な関与や支援が必要と思うが伺う。</p>
5 番	角田 広佑 (一問一答方式)	<p><b>1 夏場における高温対策の進捗状況について</b> 【質問のねらい】 9月定例会において、当別町庁舎を含む公共施設の夏期の高温対策について質問をしたが、当別町内外を取り巻く環境や状況が変化しており、公共施設等の酷暑対策はどのような方針かを伺う。</p> <p>【質問項目】 (1) 11月24日に開催された新庁舎移転検討委員会において、現庁舎の補修工事に伴う現庁舎の延長利用案が示された。9月定例会で町長より、「公共施設の優先順位をつけて推進を目指す。」と答弁を受けているが、この耐震補強による現行施設の継続利用案が採用となった場合、庁舎の酷暑対策はどのようにお考えか。</p> <p><b>2 総合的な観光政策について</b> 【質問のねらい】 新型コロナウイルスが第5類に移行し、より一層の関係人口の増加が見込まれる。町の総合的な観光施策の推進について伺う。</p> <p>【質問項目】 (1) 新聞報道等では、来訪外国人数の伸び率が全国1位となったことが公になったところである。外国人労働者が当別町に流入している現状もあるが、全国一位という結果に至った要因はどのようなものと分析しているか。 (2) 国外のみならず、国内旅行者、さらには近隣在住の道民によるマイクツーリズムの推進についても、より一層のアピールが肝要と考える。方針と具体策についてお考えがあるか、町長に伺う。</p> <p><b>3 にぎわい創出とまちづくりの推進について</b> 【質問のねらい】 北海道医療大学の移転や、人口減や中心部におけるにぎわいの喪失など、多様な影響が懸念されるが、今後のまちづくりのかじ取りについて質す。</p> <p>【質問項目】 (1) 北海道医療大学の移転表明による影響は、コミュニティの喪失が一番の痛手と考える。多世代交流や、イベント等のボランティア人材不足、そして地域福祉活動においても甚大な影響を与える。地域のにぎわい創出におけるマンパワー確保について早急に対策を講じる必要があると考える。町長の見解を伺う。</p>

		<p>(2) 北海道医療大学の移転表明により、町内の様々な分野において、今後の行く末を不安視する声が多い。いまこそ町長がリーダーシップを発揮してかじ取りを行い、「げんきな当別」を発信していくべき。現行において具体策は何か、町長の見解を伺う。</p>
6番	芳形 幸夫 (一問一答方式)	<p><b>1 水田活用交付金について</b>  <b>【質問のねらい】</b>  水田活用交付金の見直しについて、町の農業政策を質す。  <b>【質問項目】</b>  (1) 補正予算が国会で審議され、農水省は「要件を満たす全ての申請に対応」と報道されている。当別町の畑地化申請者については、どういう事となるのか町の見解を伺う。  (2) 燃油・諸費用の高騰でいまだに営農は厳しく、水田活用交付金があれば営農維持が困難との声を聞いている。今年限りで離農を検討している農業者がいるとも聞いているが町の見解を伺う。</p> <p><b>2 マイナンバーカードについて</b>  <b>【質問のねらい】</b>  マイナンバーカードに伴う交付等の事務について質す。  <b>【質問項目】</b>  (1) マイナンバーカードの交付を受けていない人・マイナンバーカードと保険証のひも付けをしていない人に対して資格確認書の交付等が必要となる、事務量が職員の過度な負担とならないのか町の見解を伺う。</p> <p><b>3 北海道医療大学の移転について</b>  <b>【質問のねらい】</b>  北海道医療大学が北広島市に移転することで生じる課題について、道や町民への対応について質す。  <b>【質問項目】</b>  (1) 北海道知事が町内を訪問した際に「引き続き町と連携」と新聞報道されたが、どのような支援を求めているのか町の見解を伺う。  (2) 北海道医療大学の移転について、町民も当別町の未来に不安を感じている。将来展望も含めて町民の声をどのようにして把握しようと考えているのか町の見解を伺う。</p> <p><b>4 福祉灯油について</b>  <b>【質問のねらい】</b>  寒さ厳しい状況の下、生活弱者への支援として福祉灯油について質す。  <b>【質問項目】</b>  (1) 物価高騰や異常気象下で、低所得者に対して、冬を乗り切るために福祉灯油の支援が求められていると考えるが町の見解を伺う。</p> <p><b>5 図書館建設について</b>  <b>【質問のねらい】</b>  図書館の施設配置等について、今後の取り組みを質す。  <b>【質問項目】</b>  (1) 令和5年度町政執行方針の駅周辺再開発プロジェクトのなかで、図</p>

		<p>書館の施設配置等事業化に向けた検討を行うとあるが進捗状況を伺う。</p>
<p>7番</p>	<p>佐藤 立 (一問一答方式)</p>	<p><b>1 当別の新たなまちづくりの軸</b>  <b>【質問のねらい】</b>      北海道医療大学が町外移転した場合、当別の地域社会・地域経済に大きな影響を与える。これを変革の契機としてとらえ町民と当別町が主導する新たなまちづくりの軸を定めることが重要だ。そこで、新たなまちづくりの軸を定めるにあたっての当別町の基本的な姿勢を問う。  <b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 新たなまちづくりの軸を策定するにあたって、町内の経済循環、地域社会の担い手であり子どもたちの身近なロールモデルであった大学生が果たしてきた役割をいかに代替するかなど、地域経済・地域社会に着目した町民の幸福追求が主たる目的で、大学施設の利活用はそのための手段の1つであると考えますが、どうか。</p> <p>(2) 当別町や町民が意思決定に関与できない一つの組織に依存することのリスクが、今回の大学移転により明らかになった。今後のまちづくりを考えるにあたって、大型の企業誘致のような1つの組織にたよる手法ではなく、当別町と町民が主導できるまちづくりをすすめることが重要であると考えますが、どうか。</p> <p>(3) 当別の新たなまちづくりの軸について、自ら考えようという様々な動きが町内ではじまっている。当別町として新たなまちづくりの軸を検討していくにあたっては、町内の様々な動きと歩調をあわせて、町民を巻き込んだ合意形成が重要であると考えますがどうか。</p> <p>(4) 大学施設の利活用については、民間同士の取引であり当別町が関与できるものではない。しかし、まちづくりの軸や金沢地区の良好な環境を維持するなどの視点から、当別町として一定の関わりをもつ必要がある。町税である固定資産税の減免や特定用途制限地域の指定など、当別町として取りうる手法を検討していく必要があると考えますがどうか。</p> <p><b>2 民間事業者と連携した当別駅南口地区都市構造再編集中支援事業</b>  <b>【質問のねらい】</b>      当別駅周辺の流れや交流活性化を促すために、町は、民間事業者が当別駅南口に建設するビルへの図書館移転を検討してきた。しかし、当該事業者が、医療大の移転に伴う町内への影響を見極めながら計画を見直しているとの新聞報道があった。民間ビルへの図書館の移転は当別町新庁舎建設とも関連する事業であるが、新庁舎建設も当初予定より時期が遅れる公算が高まっている。そこで、本事業の今後の見通しを伺う。  <b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 現在の、当別駅南口地区都市構造再編集中支援事業の検討状況を伺う。</p> <p>(2) 民間事業者との連携に当たっては、引き続き進めるにせよ、見直すにせよ当別町としての方向性を速やかに示すことが必要ではないか。</p> <p>(3) 当別駅周辺の流れや交流活性化を促すために、まずは本事業の推進を軸としつつも、より効果的な手法がある場合は、本事業のみにこだわることなく国の他の制度の活用も含め幅広く選択肢を検討することも必要ではないか。</p>

8番	櫻井 紀栄 (一問一答方式)	<p><b>1 今後の地域公共交通の将来のあり方について</b>  <b>【質問のねらい】</b>  当別ふれあいバスを運行する当別町地域公共交通活性化協議会の負担金収入の30%弱を北海道医療大学が負担しているほか、大学への通学で利用する学生も多い。今後、北海道医療大学が移転した場合はこの状況が大きく変化することが見込まれる。この機会を活かして町内の交通全体を俯瞰し考え、町民の移動の足を持続的に確保し維持し続けるための抜本的な見直しを検討する必要があるのではないか。</p> <p><b>【質問項目】</b></p> <p>(1) バス形態と路線の見直しについて  北海道医療大学移転による学生の通学利用減少は、これまでの利用実績等から推定できるものであることから、利用が大きく減少することが想定される路線は、デマンド交通やライドシェアなど含めた柔軟な交通体系への転換も視野に検討する必要があるのではないか。</p> <p>(2) バスの統合化について  町内の交通機関としては、ふれあいバスや民間タクシー等のほか、月形当別線とペー号やスクールバスも町内の主要な交通機関と位置づけることもできる。今後の町内交通の抜本的な見直しにあたっては、スクールバスをふれあいバスのスクール便として統合することや、ふれあいバスとペー号を統合し、仕組みとして一体化を検討する必要があるのではないか。</p> <p>(3) 西当別地区のデマンドバスについて  現在、西当別地区にはデマンド交通が設定されていないが、獅子内地区など人口増が見込まれる地域があり、地域内での移動ニーズが大きく増加すると見込まれる。特に子どもから高齢者の方まで安心して移動できる環境を整えるためには、本町地区の市街地予約型線のようなデマンド交通を検討する必要があるのではないか。</p>
9番	山田 明 (一問一答方式)	<p><b>1 北海道医療大学の北広島市への移転問題による町内への影響について、現段階での町としての対応及び対策は検討しているのか。</b>  <b>【質問のねらい】</b>  当別町は北海道医療大学の存在を前提として、まちづくりが進められてきたが、実際に北広島市へ移転が行われれば当別町にとって多大な影響がある。「人口減少」「バスの運行経路」「町内の消費減退」「アパート経営」「税込減」「大学のキャンパス跡地問題」等。今後大学側と、これからの問題について協議すると捉えているが、現状どのように対応し、具体的な対策を検討しているのか伺う。</p> <p><b>【質問項目】</b></p> <p>(1) 「新庁舎建設検討委員会」に於いて、医療大の移転の影響で建設時期や事業手法の決定を先延ばしにする意見がまとめられたと報道されている。移転により当別町第6次総合計画や総合戦略等の計画の見直しが必要となると考えるが、その場合、どのような手順で見直しを行う予定なのか。</p> <p>(2) 医療大の移転による当別町の経済損失は、20億円超と報道されている。特にアパート経営に於いては空室問題の影響が大きく、アパート組合のアンケート調査によると、家賃収入で2.4億円の減収が予想され、移転後の経営方針では「経営継続」は半数以下の44%となっている。当別町町営住宅長寿命化計画の見直しと共に、町として</p>

		<p>アパート組合と連携し、民間アパートの借上げ等は検討可能か。</p> <p>(3) あいの里の医療大学病院の移転については、あいの里の地元住民からも移転反対の要望書も提出されている。又、当別町の間ドック受診医療機関として多くの当別町民も通院している。移転に伴う影響は大きいですが、札幌市と連携して慰留に努める検討はされたのか。</p> <p>(4) 当別キャンパスの跡地利用について、大学側は町外からの企業誘致の考えを示していると報道されているが、当別町として当別キャンパスの移転後の活用は、現段階に於いてどのように検討されているのか。また、大学駅周辺の再開発は検討できないのかを伺う。</p> <p>(5) 大学移転に向けての建設や工事は、資材高騰や機材や作業員不足により、移転経費の増加及び、工事の遅延等により移転の時期や計画が変更になる事も想定されるが、状況の変化に応じ、大学側と時間をかけて慎重に協議を進めるべきと考えるが、町長の考えを伺う。</p>
--	--	---

【計9人、4時間30分（1人30分計算）】